

2017 年度合同建築・都市設計ワークショップ

Regeneration of Closed School Site as Cultural Crossing Spot in City Center of Nagoya



成果発表会

名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻建築学コースは、2017年4月17日(月)から21日(金)までの5日間、パリ・ヴァル・ドゥ・セヌ国立高等建築学校（フランス）、天津大学建築学院（中国）と合同で、「Regeneration of Closed School Site as Cultural Crossing Spot in City Center of Nagoya」をテーマに分析・提案する合同建築・都市設計ワークショップを開催します。最終日の成果発表会は一般に公開いたします。

**PARIS
VAL DE
SEINE**
ÉCOLE NATIONALE SUPÉRIEURE
D'ARCHITECTURE

日時 : 2017年4月21日(金) 16:00~18:00
場所 : 名古屋大学環境総合館レクチャーホール
<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/access/index.html>
使用言語 : 英語（一部日本語）
問合先 : 名古屋大学大学院環境学研究科 小松 尚
(E-mail : c42719a@cc.nagoya-u.ac.jp)
その他 : 参加無料、事前申込不要



ワークショップの概要

■目的

本ワークショップは、名古屋大学建築学コースとパリ・ヴァル・ドゥ・セヌ国立高等建築学校、天津大学の修士課程学生を対象に、異なる文化的背景を持った学生同士がコミュニケーションを取りながら一つの建築・都市デザインの提案をまとめる機会として2009年から開催しています。本年度は、2017年3月に廃校になった名古屋駅至近の旧那古野小学校の敷地と校舎を活用して、さまざまな文化活動が創発的に生まれる空間のプログラムとデザインの提案を検討します。

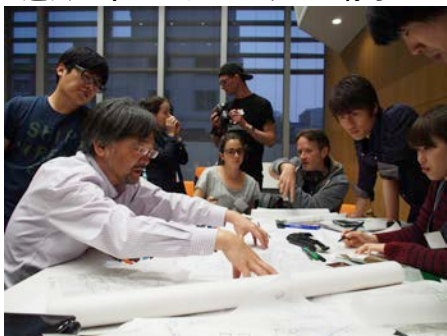
■対象と内容

人口減少と少子高齢化が進む日本の社会状況、大都市都心の空洞化、公有地の重要性、地域まちづくり、減災対応などを理解し、新たな交流空間の創出に向けた廃校跡地の今日の活用の提案を求めます。3大学からの参加学生は7つの混成グループに分かれ、事前の情報収集や分析作業、対象敷地および地域の現地踏査を行った上で、建築・都市デザイン提案に向けたグループ作業を行います。

■担当教員およびティーチング・アシスタント

- ・小松 尚（名古屋大学建築学コース・准教授） 市川綾音・市野清香・岩瀬美緒・武脇卓磨（名古屋大学建築学コース修士2年）
- ・Boris WELIACHEW（パリ・ヴァル・ドゥ・セヌ国立高等建築学校・教授）
- ・鄭 穎（天津大学建築学院建築学系 中国文化遺産保護国際研究中心・副教授） 何 捷（天津大学建築学院風景園林学科 副教授）
（本ワークショップは、この他、名古屋大学建築学教室の全教員の協力を得て実施されます。）

■過去の本ワークショップの様子



過去の取り組みの様子や成果は、<http://www.nuac.nagoya-u.ac.jp/topics/paris/paris.html> で紹介しています。